

夢への道

張 允 珍（高等部 最優秀賞）

こんにちは。私はデグシジ高校二年生のザンユンジンと申します。本日みなさまに聞いていただきたいことは、「私の夢」についてです。

実は私の母は、今社会福祉士になるため一生懸命勉強しております。母はもう五十歳を越えておりますが、年にも目の悪さにも関わらず、毎日毎日社会福祉関連の本をたくさん読んでおります。私が夜遅く学校から帰ると、いつものようにコンピューターの前で居眠りしながらレポートを書いたり、勉強をしたりしている母の姿を見ることができます。「タイピング、遅すぎだよ。」と父に催促されながらも、決してあきらめようしない母の頑張ってる姿を見るたびに、私は何となく勇気づけられたような気がします。何十年も一家の主婦として子育てと家族のことだけを考えてきた母は、その年になってやっと自分がしたいこと、すなわち自分の「夢」というものを発見したんです。

母がその年に勉強し始めたこと。そのことを通じて、私は夢というものの意味について考え直す機会を持つことができました。

「夢とは何？」私の答えは「いつのまにか人の人生に乗り込むもの」です。この言葉には、二つの意味があります。一つは、夢はどんな時でも、例え少しゆっくりだとしても、人を訪ねてくるという意味です。いくらいい年をしてても人は夢を持って、ベストを尽くせばその夢が叶うこともありうるのです。

そしてもう一つは、夢はいつでも自分の人生に乗り込めるほど、自分の日常からそんなに遠

く離れていないという意味です。私の母の場合も、田舎にいる祖母がやっている老人ホームの仕事を手伝っているうちに自然と社会福祉士への道に引かれたんです。

ですから私はあまりいらいらしないで、自分の回りをじっくり振り向きながら夢を探そうと決心しました。

まだ私には自分の先行のことがちゃんと見えていません。でも、もう少し余裕を持って回りを振り向いたら、自分がやるべきこと、この瞬間の自分にしかできないことがどんどん見えて来ました。結局、私は今の自分に夢がないからといってモヤモヤすることはないと気づいたんです。母が主婦として黙々と家事をして来たように、私も高校生として、そして一人の若者としてコツコツと自分の役目を果たしていけば、知らず知らずのうちに私の人生にも「夢の種」と言えるものが乗り込んで、徐々に芽吹いてくると思います。いつか夢の蕾が綻びるその時を待ちながら、私は充実した一分一秒を生きていきたいんです。入試のためのきつくて苦しい勉強も、楽しい日本語の勉強も、大好きな人たちと話し合うことも、先生がおっしゃってくださる重みのある人生の教訓も。ささやかなことや大事なこと、その全てがきつと夢への道へ繋がって未来の蕾を咲かせてくれると信じています。私は何一つ見失わないで、一生懸命生きていきたいんです。

最後に、みなさまに、お伺いしたいことがあります。「みなさまの夢は、今、乗っていますか。」

私を見つけてくれた日本語

金 仙 住（高等部 金賞）

皆さん、こんにちは。日本語を愛する皆さん、あるいはライバルになる皆さんに会えてとてもうれしいです。ここにいらっしゃる皆さんの中にも、日本のドラマのファンがいらっしゃるでしょう！私の場合も、「ごくせん」というドラマ、そのドラマはヤクザ一家出身の女の先生が、問題児の学生たちを善の学生に導いていくという大変面白いドラマですが、ドラマの展開がとても奇抜で、毎日のようにこのドラマに心を奪われてしまいました。他のドラマにも挑戦して、6ヶ月後には日本語が一言二言と耳にキャッチできるようになったのです。その時の喜びはとても言葉では表すことのできないほど強烈なものでした。皆さんの中にも似たような体験をもっていらっしゃるって、きっと私の気持ちを理解してくださるでしょう。私にとって日本という国、そして日本語という言葉がこんなにも大きな人生の転換になるとは、今考えても驚きです。それによって、もっと日本語を通して素晴らしい人生に変えていきたいという強烈な願望と野心を持ち続けていきたいという思いが湧きました。

私をこのように強い野心家に変えてくれた原因には、実は日本人の先生との出会いがあったからです。三瓶先生という方は、日本語、日本文化については勿論、人間関係や人生観、そして、何よりも、両親にも話せなかったいろいろな悩みを誠実な態度で熱心に聞いてくださ

り、私を悩みの底から解放させてくださったのです。今では尊敬してやまない先生です。

日本語を本格的に学び始めて2つ目に手にいれたもの、それは「誇り」です。自分自身を愛し、大事にできるようになりました。自信をもって積極的になり、常に意欲をもって生きていくようになりました。私は中学生まで、特別に好きなことも、やりたいこともない個性のない、それこそ、平凡な模範生でした。しかし、日本語を本格的に学び始めてからは、好きなことも、やりたいこともたくさんできました。今や私は自分自身の長所や価値が分かるほど成長しました。日本語という手段を通して。みなさん、自信にあふれた今の私を見てください！

3つ目に手にいれたもの、それは「夢」です。私の夢は韓国と日本の外交的な役割を果たせる通訳者になることです。なぜなら私の出身地である大田に来てくれた福岡の同級生の交流を通して、最初はなかなか言葉が通じなくて大変でしたが、途中で通訳の方が来てくださり、お互いに理解し合えて、同じ人間として共感し合えることの喜びを肌で感じたからです。今日は国際化時代、グローバル時代と呼ばれる地球村時代です。いつまでも日本を近くて遠い国のままにしておいてはいけないと思いませんか。私たちの力で日本を本当の意味で近い国に変えていこうではありませんか！

日本と韓国、そして僕の“かつて”と“これから”

催 哲 雄 （高等部 銀賞）

こんにちは。僕はペガン高校 2 年生のチェチヨルンと申します。

今日は僕自身のことについて話したいと思います。まず僕は日本人の母と韓国人の父という、国際家庭の長男として生まれました。僕が生まれた当時、父がアメリカに留学していた

こともあり、母の実家がある日本で幼少期を送ることになりました。六歳頃まで日本と韓国の家を行き来しながら暮らしていましたが、父が帰国するにあたって初めて本格的な韓国での暮らしが始まったのです。韓国での暮らしの中で僕が日本と韓国のハーフだと知った人たちの

反応は様々です。純粹に興味を示す人もいるし、“日本語ができて羨ましい”と言ってきたり、時には両国間の歴史的因縁のせいあまり良くないことを言われたりもしました。そういった中で特に残念だったのは“日本は悪い国だ”“日本は滅ぶべきだ”等と考え、極端に日本を敵視している人が少なからず居たことです。

過去、日本は韓国を侵略し植民地にし、韓国人々にとって簡単には癒すことのできない深い傷跡を残しました。その傷は解放されて五十年余り経った現在でもいろんな問題の原因になっています。靖国神社への参拝、日本軍慰安所があったことに対する謝罪、その他植民時代に日本が行ってきた非人道的行為の数々。これらの問題は未だ解決されることなく、今もほとんど日本を敵視する人たちを生んでいます。しかし僕は日本が昔韓国に対して行った行為を知った上でも、彼らの様に完全に日本を敵だと思えることは出来ませんでした。なぜなら僕には幼いころ日本で出会った大勢の人たちが居たからです。彼らは決して悪い人間だとは思えなかったし、もし日本をただの敵として扱ったらその人たちまで敵になってしまう。しかしそ

う思いつつも、実際に日本が犯した過ちもまた事実であり、日本に対して良くない印象を持つのもまた仕方ないことだと思われました。

僕はこういった問題たちを解決する為には、まず過去の過ちを認めた上で、お互いを見る目を変えるべきだと考えます。日本が過ちを認めて謝罪しない限り韓国は納得できないだろうし、認めた方をいつまでも敵視してはお互いの関係を改善することなど到底出来ません。そして過去を清算したなら今度は新しい時代を生き抜くために、互いのことをより深く理解し、協力しあう関係を築いて行かなければなりません。過去はいつまでも悔やみ、悲しむだけに止まらず、二度と同じ過ちを繰り返さない為に存在するものであるはずです。

人が短くとも長い人生で出来ることは限られています。そして僕は未だに将来なにをするかなど、まだはっきりと見えているものは有りません。しかし、これから先に出会うであろう多くの人や出来事の中で、二つの国が分かりあえる為に少しでも頑張ることができればと、そうおもいます。ここまでご清聴頂き、誠にありがとうございました。

コミュニケーションー心を開くことー

任 智 潤 (高等部 銅賞)

こんにちは。皆さんは「外界語」と言う言葉を御存じでしょうか。

新造語辞書では「ある十代達が中心となってアルファベット、特殊文字などを使って意思を表現するネット上の言葉」と書かれています。最近の若者の間ではよく聞き取れない言葉全てに對して使われています。私はもともと珍しい言葉を耳にするとみんなに聞かせたくなったりして、今となっては口癖のように言っていますが、なぜ「外界語」と呼ぶのか前から気になっ

ていたのです。

ところで昨年冬、ホームステイで初めて日本に行った時でした。やっと自分の日本語を試す時が来たときどきでしたが、私の口から出てくる言葉は余りにも単純なものでした。頭の中が真っ白になって、一生懸命勉強した洗練された日本語は思い出せなかったのです。自分のがっかりしちゃった私に気付いたホストファミリーのお父さんにある外国語交流団体のセミナーに参加するのを勧められました。セミ

ナーで彼らは積極的な態度で韓国から来た私に韓国語であいさつをして、まるで歌を歌うようにぺらぺら韓国語でしゃべりました。聞けば韓国語の勉強を始めてあまり経ていないそうでした。なのにどうしてこんなにも上手いのか、彼らと私の間にどんな差があったのか。顧みたら、たぶん彼らは私を外国人ではなくて、一人の人間として受け入れて、私に心を開いてくれたような気がします。

反面、私はただ一方的に見ているだけで、それ以上のことは考えていませんでした。彼らとの真の意思の疎通とはどう言うものなのか分かっていなかったのです。その時、私は「外界語」と言う表現の意味が分かってきたような気がしました。

外界語と外国語の「外」と言う文字は、その言葉を使っている人の中に存在しないものだと言うことになります。例えば、日本語は外国語だと認識する行為が、自分で気付かないうちに壁を作ってしまいます。理解の範疇にはいらないものと見做して心を閉じてしまうのです。

こんな側面から見ると人間と人間のあいだのコミュニケーションもまた同じだろうと思います。相手が何を言っているのか、ちゃんと理解しようと心を開いて、始めてコミュニケーションが生まれるのです。

だから外国人と外国語を、文字どおり外のものだと思うより、いっしょに生きて行く、心を開いて触れ合うべきの相手だと思うのはいかがでしょうか。

コミュニケーション、肯定的な言葉の力

李 枝 潤 (高等部 優秀賞)

こんにちは。順天女子高校の李枝潤と申します。私は先ず、学生たちを対象として行われたある実験に関して話したいと思います。

先生が学生たちに「黒い目の子供が青い目の子供よりもっと賢いということを科学者たちが証明したんだ」と言いました。すると、黒い目の学生たちが学校で頑張ることになりました。そして数日後、また学生たちに「前の話は間違ってた」と言いながら「実は目が青い子供が頭いい」と言いました。次はどうなったのでしょうか。皆さんの予想通り、青い目の学生たちの成績が上がりました。

皆さんはこれと似たような話を既にいくつかご存じだと思います。この話で学生たちは先生に言われた後、自己暗示を通じて実際に成績が上がる経験をしました。このように良くなれると信じることで肯定的な結果をもたらすことを『フラシボ効果』と言います。実際には何の薬効

も期待できない物質なのに薬と言われて飲んだら、病状が好転されたという場合もあります。これもまた「薬が効いて良くなれる筈だ」と思ったことが偽の薬だったのにもかかわらず、効き目として現れたのでしょ。

一方、何かが有害だと信じることで本当に悪い結果を起こすのを『ノシボ効果』と言います。例えば、監獄から出たばかりの人は、また犯罪を起こす可能性が高いと思われれます。そのせいで社会に適應できなくなり、再犯へつながってしまう悪循環が繰り返されるのです。こういうのを社会学では烙印議論と呼びます。犯罪者だと烙印を押された者に否定的な期待が注がれ、その期待が実現される過程です。

人は他人の期待によって行動する傾向があるため、他人との会話が実際の行動に影響をあたえます。だから「お前はだめだ」という言葉と「お前ならできるよ」という言葉はおどろくほど

に大きな違いを持ってくるのです。だれでも相手が自分を尊重して期待してくれれば、それに応じたいと思い、努力しますのね。

韓国の有名な作家シンキョンスクさんにもそんな経験があったそうです。昼には工場へ、夜には学校へ通ようつらい生活をしていた彼女は学校をやめようと思いました。それを学校の先生が説得し、彼女は再び学校に行くことになりました。そして先生は、彼女が自分の考えを素直に書いた文を見て、作家になってみなさいと励ましてくれたんです。それが今の立派な小説家をうんだきっかけになりました。

つまり、コミュニケーションは相手にどんな意図と期待を込めた言葉を伝えるかによって大きく左右されるともいえますよね。そして、どんなに良い思いも表現しない限り、人は簡単には分かってくれないんです。だから心から紡がれた言葉を自分にも、相手にも繰り返して聞かせてください。前向きで愉快的話は会話を成功させるだけじゃなく、のぞましい結果へ導いてくれる力になります。皆さんも回りの人たちと力を込めたげきれいの一言を交わしてみるのはいかがでしょうか。

聞いてくださってありがとうございました。

平和への道・・・人を自分のように愛せよう

尹 雪 兒（高等部 優秀賞）

こんにちは。私はゴヤン外国語高校のユンソウです。今年の一、私は九州の長崎に行ってきました。長崎は原子爆弾が投下されて、たくさんの方が被害を受けた地域です。長崎には原爆の爆発後、水に油が浮かんで、のどが乾いても水を飲めなくて死んだ人の冥福を祈る「平和の泉」という噴水があります。

「のどが乾いてたまりませんでした。水にはあぶらのようなものが一面に浮いていました。どうしても水が欲しくてとうとうあぶらの浮いたまま飲みました。」

汚れた水を飲めなくて苦しんだある少女の日記です。この日記を読んだとき、胸がつまりました。戦争を体験したことはないですが、その痛みや苦しみが感じられました。

原爆資料館の中。資料館の中に入ると原爆が落ちた11時を知らせる時計の音がカチカチと聞こえてきました。原爆で焼かれた人の手の写真や溶けたガラス瓶などを見るだけでも爆発の時の恐ろしさを感じられました。私は展示品をちゃんと見ることさえできませんでした。

展示室の最後の廊下まで行くと私はある人に会いました。その人の名前は「永井隆」。人を自分のように愛するというを人生の中で実践した人でした。原爆投下の後、永井博士は自分が病気になることは気にせずに被爆された患者の治療に頑張りました。

自分の利益のために始めた戦争とその中で人のために自分を捨てられる愛の心はとても矛盾していると思いました。

最近、アフガニスタンで「韓国人質事件」が起きました。遺書まで書くほどの覚悟と人を愛する心を持った23人の韓国人は戦争で苦しんでいる人のためにボランティア活動を始めました。しかし、この23人は国際舞台へ再び進出しようとするタリバンの野望の手段になりました。

このニュースを聞いたとき、私は長崎で出会った永井博士のことが思い出しました。「人を自分のように愛せよう。」もちろん、この言葉を実践することが簡単なことじゃないでしょう。しかし、実践するために努力をするべきです。

世界大戦が終わって60年以上経ちました。

それほど戦争や平和の教育の重さも軽くなりました。私も長崎へ行く前には世界唯一の分断国家に住んでいながらも、戦争や平和について深く考えたことはなかったです。しかし、キャンプが終わって、韓国に戻る船の中、私は遠くなる九州を見ながら思いました。自分より人を愛した永井博士と死ぬかもしれないのにアフガニスタンへ向かった奉仕者23人、まだ戦争を続けている色んな国の人たち。そして平和の時代を作ることに少しでも力になろうと思いまし

た。そして、迷っていた進路も国際学部で決めました。キャンプが終わってから半年以上の時間が経ちました。だけど、私がその時、長崎で感じて、習って、そして平和の時代を作るための役に立とうとする決意に変わりはありません。今もこの夢を実現するために一生懸命勉強しながら、いつかみんなが人を自分のように愛することができる日が来ることを待っています。

私の人生の一人

康 珉 實（高等部 優秀賞）

こんにちは。私は大元女子高校、2年生カンミンシルと申します。皆さんは自分の人生に影響を与えた特別な人がいますか。私の人生において大きな影響を与えた人は、「藤原竜也（フジワラタツヤ）」という俳優です。

中学1年生の時、偶然テレビから彼が出演する映画を見て彼に惚れて、ネットで検索した結果、「彼は主に演劇の舞台で活動する」とことを知るようになり、“日本に行って、彼の演劇を私の目で直接見よう！”という目標を建てました。

そして、中学2年生の時、学校で第2外国語として日本語を勉強しながら「日本語」に大きな魅力を感じるようになり、それで、“まずは日本語を一生懸命勉強した後、日本に行って彼の演劇を見よう！”と目標を変えました。

そして、中学3年生の時、初めて受けた「日本語能力試験4級」に合格し、日本語にどんどん魅力を感じるようになり、“自分が進むべき道はこれだ”と確信しました。そのためには“まず、「日本語能力試験1級」に合格しよう！”と決め、日本語の塾に通うことになりました。

消極的な性格で初めて会う人々と仲良くなる

のがちょっと大変でしたが、2、3ヶ月ずっと塾に通い続け、ようやく同じ学校の友達みたいに仲良く話せるようになりました。

塾に完全に慣れた頃、偶然「日本語のスピーチ大会」に出ることになりました。内気な性格のせいであらりましたが、“どうせこの道に進むなら、こんな大会にも一度出てみよう！”と決めました。

しかし、準備は大変でした。本当に大変でしたが、「苦しみ尽きて幸福が来る」という言葉のように一生懸命努力した結果、最優秀賞を取ることができました。

そして、2006年という、一番最初に頭に思い浮かぶ「日本語能力試験1級」。1年間がんばりましたが、最後にちょっと、調子にのったせいで、合格はしましたが、目標の点数は取れませんでした。しかし、“自分の夢に一步進んだ”と実感することはできました。

他の友達がみんな学校の勉強に集中している時、私は中学1年生の時の目標を達成するために、みんなと少し違う道を選びました。もちろん、日本語と学校の勉強を両立することは大変でした。日本語はもう辞めたいと思ったこともあ

りました。しかし、そんなときは、いつも、中学1年生に建てた目標が私を支えてくれました。そして、今考えて見ると、2006年は自分の夢に向かって、一步一步歩いてきた何よりも大切な宝物であれ、誰にも負けない誇りです。

そして、2007年。今年は私が日本語を勉強した4年目になりますが、中学1年生の時の夢は変わりませんでした。もし誰かに“どうしてあなたは日本語を勉強するんですか？”と聞かれたら、私は何の迷いも無く“日本に行って好きな俳優さんの演劇を直接見たいからです”と答えます。“芸能人に会うためにそんなに日本語を一生懸命勉強するのか？”と私を嘲笑う人がいるかも知れません。

しかし、私に「藤原竜也」という芸能人はとても特別な人です。もし、あの時、テレビで放送した映画を見なかったら、今の私はどんな人になっているんでしょう。確実な夢もなく、自分の未来に不安ばかり抱いたそんな人生かも知れません。

しかし、偶然「藤原竜也」という芸能人に出会ったおかげで、今の私がいるのです。そして、今の私は“韓国と日本の関係をもっとも敦厚にさせたい。韓国と日本の交流を私の力でもっと発展させたい”という目標の下で、「同時通訳士」を目指しています。もちろん大変なことでしよう。しかし、諦めません。諦めたら、それは夢ではないからです。どんなことがあっても、諦められない、それが夢です。

私に輝く夢をくれた「藤原竜也」に会いに日本に行く日まで、どんな苦労があろうと、私は「同時通訳士」という夢に向かって歩いていくつもりです。もし皆さんも自分の夢、あるいは、未来について、不安を抱いていたら、周りをよく見てください。近いところにあなたの人生に輝く夢を与えてくれる特別な人がいるはずですよ。ぜひそんな人にめぐり会えることを願ってやみません。

今まで、私の話を聞いてくださって、本当にありがとうございました。

韓流をつかめ！

金 秀 映（高等部 優秀賞）

皆さん、こんにちは。突然ですが、皆さんは「チャングムの夢」「冬のソナタ」「ベヨンジュン」「グォンサンウ」のような単語から何を連想しますか？そう、いま私が言いましたこれらの単語はすべて、韓国のドラマや芸能人でありながら中国や日本、台湾などアジア各国で大ヒットしたもののたちです。「チャングムの夢」の場合、日本ではテレビで再放送されたり、多くのファンたちのためにイベントが行われたりするほど大変な人気を得ました。つまり、今現在東アジアはまさに「韓国が流行る」と言う、韓流熱風が起きているのです。

実のところ、韓流という言葉は最近つくられ

たものではありません。韓流とは、韓国が90年代に中国へ輸出したドラマたちがとても人気を出したことに對し、中国のマスコミがつけた名前です。その後、韓流は中国だけではなく、台湾、香港、ベトナムなどの東アジアに広まり、今に至るのです。

この韓流現象により韓国はイメージを良くし、世界へその存在を知らしめることができるので、韓流の役割は数十人もの外交官に匹敵するといえるでしょう。そして韓流を上手く利用すれば経済的、文化的な利益を得ることも可能なのです。まだ世界にあまり名の知れてない韓国として、これは逃せない機会です。

しかし、現在話題になっている韓流は芸能人、ドラマといったエンターテインメント的な面だけを強調しているため長く続かない可能性があります。たとえば、韓流を率いているドラマの場合いくつかのパターンがあり、視聴者をすぐに飽きさせます。芸能人の人気もとても脆くて決して永遠に続くとはいえません。実際、過去に韓流が大変流行っていた香港では韓流の元となった何人かの芸能人やドラマの人気に依存し、一時的なブームで終わった例があります。

ならばこのような韓流の問題を克服するためにはどうすれば良いでしょうか。私は大衆文化を先立たせるより、もっと韓国を代表でき、本質を極めている固有の文化を韓流として広めることこそその解決法となるのだと思います。ここでいう固有の文化とは韓国特有の情緒や思考を表す文化のことを指します。そしてこの固有の文化となりえるのは韓国の伝統文化です。服装、音楽、オンドル暖房などは韓流にぴったり当てはまるとは思いませんか。現にこういった固有の文化を「韓流」のように全世界に普及した

国がいくつかあります。そのよき例がアメリカのジャズと日本の寿司、着物です。

クラシックとともに世界的に親しまれているジャズは、アメリカから発祥した音楽ジャンルです。アメリカの奴隷たちによって創られ、発展したジャズはいまやグローバルに楽しむ一般的なものになりました。また、アジアだけでなく西洋でも人気のある寿司や着物はすぐに日本を連想させるだけでなく、もはや日本のシンボルとなりました。これらはすべて、固有の文化を世界に広めた良き例といえるでしょう。

先ほど述べたように最近東アジアで盛り上がっている韓流はその勢いがいつ止まるかわからない不確かな流れです。韓流を末長く続かせるため、私たちは韓国について全く知らない外国人とも我が文化を共有できるようにもっと韓流を花さかせ、世に広めるべきだと思います。そして、私はこれが実現したときにこそ韓流は真の意味をもって国際的に認められると思います。

御清聴ありがとうございました。

しんゆう

朴 明 恩 (高等部 優秀賞)

皆さんは「しんゆう」という言葉をどのようにお考えでしょうか。普通、この言葉の意味を尋ねると「しんゆう？それって、‘親しい友人’で頭文字をとったのでしょうか？」と問い返します。あるいは「きわめて仲のよい友達」という辞書にでてくる定義を思い浮かべます。多分ここにいる皆さんもそうだろうと思いますが、私が考えている「しんゆう」の意味は少し違うんです。

私がこの「しんゆう」という言葉を普通の人の思ってる「親友」とはまた違う意味として認識するようになったのはある人に出会ってからです。初めて彼に会ったのは中学2年の夏。日本語

を勉強していて、ふと「日本人の友達がいたらいいなあ！」と思った私はインターネットを使って友達を作ることにしました。

結果はうまくいきました。日本語の下手な私が話かけたのに優しく返事してくれました。初めてできた日本人の友達。年は彼の方が三つ上でしたが、国境を越えた友情に年の差はそう問題にはなりません。私たちは毎日メッセージで会いました。韓日両国の文化から政治、経済、歴史にいたるまでいろんなことについて話し合うのはお月様の登場と共に始まり、太陽が昇る時まで続けました。

ところがある日、私たちは喧嘩をしてしまいました。下手な日本語が問題を起こしたのです。私が日本語で答えられないのを聞かれた時いつも「言えない」と答えたのが誤解を呼び、結局彼を怒らせてしまいました。「どうしていつも言えないとばかり？俺たち、しんゆうじゃなかったのか。お互いになんでも話し合うしんゆうじゃなかったのか！」

その時の私は「しんゆう」という言葉もわからない子でした。辞書で調べてみたら、「きわめて仲のよい友達」という説明があります。いや、その他にも「真の友」を指す「真友」や「心から通じ合っている友達」を指す「心友」が出てきます。一体、彼の言った「しんゆう」とはどれなんでしょう。確信できず悩みましたが、彼が怒ってる以上、何かはやく答えなければいけません。それで私は言いました。

「そうよ。あなたの言ったとおり私たちは親友

よ。私がいつも言えないと言ったのは日本語で表現できないという意味だったの。ごめんね。でも怒らないで。私、あなたにとってただの親しい友達の親友じゃなくて、心から通じ合う、心の友達の心友になりたいの。本当の友達の真友にもなりたいの！だから怒らないで。ずっと友達でいようよ！」

彼が笑いました。怒っていた彼が笑いました。自分が怒った理由が誤解だと分かったからか、それとも私の駄洒落が彼を笑わせたのかは今でも分かりません。でも、それから私たち二人には「しんゆう」という言葉は格別の意味を持つ言葉になりました。

皆さん！この話を聞いた今も、「しんゆう」という言葉をただの「親しい友達」という意味としてお考えでしょうか。そして最後にもう一つ聞かせてください。皆さんには「しんゆう」がいますか。

コミュニケーションの大切さ

趙 慧 玲（高等部 優秀賞）

みなさん、こんにちは。私はみなさんにコミュニケーションの大切さについて話をしたいと思います。人と人との「絆」はとても大切なものです。しかし、こころを開いてお互いの気持ちを話しあわなければ、ひとのこころは伝わりにくいものです。

私は今、高校生でしかも3年生です。大学受験をひかえた大切な時期です。家族のことが嫌いになったわけではないのですが、最近になって家族とも話す機会が少なくなり、伝えたいものがはっきりと伝わらない時もあります。

兄と私は二人兄弟でとても仲がよかったです。最近些細なことで、ケンカをすることになりました。話は特に内容があるものではなく、いつものような世間話でしたが、偶然私が言った

言葉を兄が勘違いして、しばらく口もきかないほどに大ケンカになったのです。あとで、誤解は解けたのですが、子供の時から大好きで仲良くしてきた兄とちょっとしたコミュニケーションの行き違いでこのようなことがおきるなど考えもしなかった私はとてもびっくりしました。

また、母とのことも思い出します。私は母のことが大好きで、むかしはよく一緒に遊びに行っていたものです。今は母も私もいそがしく、話すことも少なくなりました。1月前ですか。私は、母の前で何気なく今時の高校生が使う言葉を口にしました。しかし母はそれが理解できなかったみたいで、私が体の調子が悪く病気になったと思って大変心配しました。世代の違いといえどそれまでですが、何でも通じ合えると思ってい

た母が、私がただなんとなく使った言葉にそれほど心配をかけるとは思いませんでした。

家族の間でもちょっとした言葉使いの違いでケンカをしたり、心配させたりすることがあるのです。私は母のことも大好きだし、兄のことも大好きです。そして、こどものときからお互いに心からしっかり結ばれていると思っていました。それほど中のいい人でも自分が伝えたいことをはっきりと口に出して正確に伝えなければわからないものがあるものだという事をわか

るようになりました。

ひととひとの「絆」というものは、ただ単にお互いを思う気持ちだけでなく、お互いのコミュニケーションを大切にしなければならないとのこと

です。みなさんもこのような経験があると思いますが、いかがですか。今からでも、「絆」を大切に、正しい「コミュニケーション」で、人の和を広げていきたいと思っています。

ありがとうございました。

夢がただの夢ではなく…

鄭 裕 静（中等部 金賞）

こんにちは、私は本五中学校2年に在学中の鄭裕静と申します。まさかと思わなかったこの場にこうやって立てるのを光栄と思い、深く感謝の言葉を申し上げます。今日ここで私は皆さんに私の将来の夢について申し上げたいと思います。

私の将来の夢は声優です。正確に言えば日本で活動するアニメ専門声優です。子供の頃から特にマンガやアニメが好きだった私は、よりよくアニメを観ることになって「あ！この声あの時のあの声じゃない?」、「あの声はその時その声だったのに」と自然に声にも耳を傾けることになりました。そのように私はだんだんテレビから放送してくれる韓国のアニメを超え、インターネットから新しい日本原語のアニメを接することになり、いつのまにか韓国の声優さんだけではなく、日本の声優さんにまで興味を持つことになって、彼らの魅力に嵌っていました。今まで6年間同じ職業を夢見ながら…。

なら、どうしてわざわざ自分の国を離れ、外国に行くまで、それもアニメ専門声優をしようとするんだい?と思う方もいらっしゃるはず。もちろんそこには自信を持って言える確実ない

くつの理由があります。前にも申したんですけど、私はマンガやアニメが大好きです。そして、皆さんもご存知のとおり日本はアニメ王国と言われ、発展したアニメ技術で多いアニメを作り出しています。そうしたらどうせやるのアニメの本場である日本で活動をしたいという欲が出て来ました。さらに、アニメが声優の魅力を一番良く引き出せると思ったからです。声だけで全てが表現できる声の魔法師の声優は、多様な色の声でアニメをもっと面白く楽しませてくれます。女の人が男の人の声を出したり、または男の人が女の人の声を出したり、それって凄くないですか? そんな色々な声の魅力を良く引き出せるのがアニメの力なんです。もちろん、日本にはアニメの他にも‘声’だけで表現できる魅力的で面白いジャンルが沢山あります。だからこそ私は日本でアニメ専門声優になりたいのです。

アニメ専門声優を目指すようになることで、もっと日本が好きになり、日本の文化や色々なことを知り、そしてこうやって日本語で話すこともできました。何だって声優はもう私にとっては単に夢だけで存在することではなく、何があっても

果たしたい何かとも変えられない大切な未来なのです。日本で住んだこともない私がどれだけ自然に、どれだけ日本人の情緒にあう演技を日本語でやれるのかは非常に難しいことかも知れません。

でも、だからもっと挑戦する価値があると思います。憧れる人方と一緒に好きな仕事をしながら、わが国ではなく他の国のあそこであの人々の心まで動かせる声の演技者になればそれだけ素晴らしいことがまた世の中にあるのでしょうか。未来の韓流熱風が私によって再び燃えるのを夢みながら誇らしい韓国の娘になるこ

とを望みます。私が一番大好きな声優さんがある作品で主人公として熱演したキャラクターがいつも言う言葉があります。「俺はもっと上に行くよ」。その言葉はさらに多いお金や、人気を得たいということではないはずです。それは自分の夢を叶える為に果てしなく努力しようという意志の言葉ではないでしょうか。私も立派な声優になる為にいつもこの言葉を繰り返します。「私はもっと上に行くよ」。

皆さん、私の切実なその夢の為に応援の拍手を送ってくださいますか？ありがとうございました。

変わった店、「ツンデレカフェ」

丁 允 卿 （中等部 銀賞）

皆さんは日本と言えばどんなイメージが思い浮かびますか。島の国？経済強国？私は日本という国を思うと、まず、「親切」が思い浮かびます。

日本人はどこに行っても優しくて親切な態度で接してくれます。そして親切さは日本のお店では一層著しくなります。お店にお客さんが入る時は笑顔で“いらっしゃいませ”と迎え、お店を出る時も笑顔で“またお越しくださいませ”と見送ります。これは私の経験ですが、品物を買わなくてもサービスの良さには全く変わりがなく、言葉にしなくてもお客さんが望んでいる物をキャッチしてサービスするところが本当にお客さんに気を使っているな、と思いました。そんな私を含め、韓国のほとんどの人が持っている日本という国のイメージはまさに「親切の国」と言っても過言ではないでしょう。

そんな日本では最近新たに、少し変わっているサービスのお店が次々と出てきているようです。私が紹介したいお店はこれまでの日本のお店とはギャップがあってその点が面白いと思

います。そのお店は「ツンデレカフェ」と言いますが、もしかして聞き覚えのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。このお店のことは日本人に聞いてもよく知らない人が多いと言われるほどで、言わば少しマニアックでオタク文化の一つです。

では、「ツンデレ」とはどんな意味でしょうか。「ツンデレ」は「ツンツン」と「デレデレ」からの言葉で日本の新しい造語です。「ツンデレカフェ」の店員はこういうかわいいメイド服を着ています。店員はお客さんに普段はツンツンとそっけない態度や発言をしますが、お客さんがいざ帰ろうとすると急にデレデレ甘えて来ます。百聞は一見に如かずです！私が1人2役で少し見本を見せたいと思います。

“どうも。”

“何しに来たの。”

“えっ？”

“早くとつと座っちゃってよ。はい、メニュー、早く決めちゃってね。忙しいんだから”

“あ、あのお客なんですけど。”

“うん、わかってる。早くして。”
“じゃあ、ウーロン茶。”
“ウーロン茶？面倒くさいな～。”
“何だよ～もう帰ろうか。”
“えっ、お兄ちゃん、もう帰っちゃうの。ごめんね。”
“ごめんね？”
“うん、色々ひどく言っちゃってごめんね。また来てくれる？”
“うん、来る！”
“うん、約束だよ。”
“は～い。”
“気をつけてね～、いってらっしゃい！”

はい！よくわかりましたか。このように少し変わっている「ツンデレカフェ」はオタク界ですごく人気だそうです。しかもすっかり世の中に浸透しつつある有名なあのメイドカフェとも肩を並べるほどの人気ですので、その程度は皆さんの予想を遥かに越えるものだと思います。

では、なぜ「ツンデレカフェ」は人気があるのでしょうか。考えてみてください。私が思うには

普段はツンツンしていても二人きりになるとデレデレする、その姿に男性は心を癒されるのではないのでしょうか。そして店員の態度のギャップに魅力を感じているのではないかと思います。

そして実は私、ツンデレカフェに行ったことがあります。ツンデレカフェに入ったとたん、お店の全ての人に自分のことを変態のようにじろじろ見られました。なぜならカフェには男性のお客さんばかりで女性のお客さんは私以外は誰もいなかったからです。ツンデレカフェに向かう前は‘何でお前がキレてんの？’とか言ってビックリさせるつもりで腹を括っていました。しかしいざ注文する時は案の定の店員の態度でも慌てまくりでした。それで‘こんな店、二度と来るもんか’と思いましたが、今思うと一生の思い出になってよかったと思っています。

私たちの回りには様々はギャップが隠れています。たくさんの方にちゃんと向き合っ、また比べてギャップを探し出すと言うのは観察力や好奇心、物への興味に繋がると思います。皆さんも頑張ってください。

私の二つの夢

宋 有 香（中等部 銅賞）

私には二つの夢があります。その一つは職業としての夢、もう一つはぜひやりたいことです。スピーチで何を言えばいいか、色んなものを考えたけど、結局私自身を一番よく表現できると思った「未来の夢」によって話そうと思いました。

一番目の夢は美術品競売会社のスペシャルリストです。私がスペシャルリストになりたがったきっかけは偶然にバクジョンミンさんの「競売場へ行く道」を読んでからです。それを読みながら「美術品を売る」仕事があるのを知りました。回りでなかなか見てない仕事なので、新しい世

界への好奇心が私を誘いました。もともと私は絵を見るのが大好きで、外国では美術品が普通の生活に近づいているのがうらやましいでした。そんな私に絵を扱うスペシャルリストは憧れの仕事です。

スペシャルリストがする仕事はすいぶん多いです。競売の準備、たとえば出品作を見て断るか、受け取るかを定めることから落札品の配達までほとんどの事をします。それとスペシャルリストのセンスが販売量に影響を及ぼすので色んなごとに気を付かわなきゃいけないのです。たとえば入札の時、競売はほとんどの入札者

をスペシャルリストの人脈に依存しています。誰がこんな風の絵を集めるか、誰が家に飾る絵を探しているのではないかとよく考えるべきです。そしてさまざまな人と付き合ったり私の才能を試すことができます。だから私はこんな事がスペシャルリストの魅力だと思います。

二番目の夢は地球のためボランティアをする事です。実は私って一年前まで奉仕何かつまらないし、面倒くさいと思いました。だけどある映像を見た後、私の考えはすっかりと変わりました。その映像は「地球の歴史を24時間にすると」と言う仮定をした映像でした。その24時間、地球歴史の中で人間が現れたのは23時58分。そして残った2分の間、人間は23時間58分をかけて作られた地球を瀕死の状態にしました。それで地球を守るのも人間だし壊すのも人間だと言うごとを心深く感じました。そのきっかけ

で私は地球のためのボランティアをやりたいと思いました。

その中でも一番やりたい事はグリーンピース会員としての活動です。グリーンピースでは化石燃料反対、自然エネルギー使用推進、森を守るキャンペーンなどをします。そんなグリーンピースの活動を見て私の小さな力でも地球の助けになりたいと思いました。

その外にも色々な夢があるのですが、私の中で今一番かなえたい夢はこの二つです。数年がたって、このスピーチを思い出しながら「そうね、その時言っていた事全部かなったわね」と言えるように頑張ります。

皆さんはどんな夢を持っておられるでしょうか。皆さんが持っている夢も必ずかなうように祈りながら、今まで聞き入れ下さってありがとうございました。